



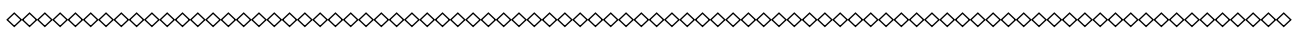
6月10日、ファミリーセンター大ホールで「青少年を育てる会」が行われました。この大会は次代を担う青少年を心身ともにたくましく、人間性豊かな青少年に育てようと開催されています。

大会では優秀団体や育成者の表彰、中高生代表8人による「少年の主張大会」、そして、東濃実業高等学校吹奏楽部（49名）による演奏会がありました。

少年の主張には、八百津中学校から3年生の上野仁士朗さん、岩井文菜さん、有賀咲絵さん、小

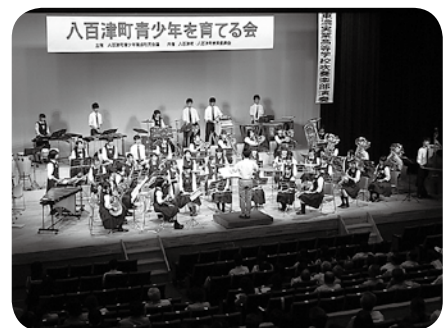
嶋友奈さん、八百津東部中学校から3年生の林のぞみさん、宮ノ腰友希さん、そして八百津高等学校からは、1年生の野村祐貴さん、2年生の今瀬弥生さんが、家族や自分自身のこと、また、人とのつながりの大切さなど堂々と発表しました。

そして「つながり」と題し、自分の入院体験を基に人とのつながりを通して、感謝の気持ちや前向きに生きることの大切さを訴えた、八百津中学校の岩井文菜さんが最優秀賞に輝きました。



東濃実業高等学校吹奏楽部は、本年度4月に新入生16名を迎え、2年生24名、3年生25名総勢65名で活動しています。部訓「仁協和音」をかかげ、互いに思いやりの心をもって協力協調しながら音楽表現をすること、また地域に愛される吹奏楽部を目指して頑張っています。

活動内容としては、毎年冬におこなう定期演奏会（今年は12月24日に第19回目を実施します）とコンクール・コンテストを大きな柱として位置づけています。昨年度のアンサンブルコンテストでは4チームが県大会に出場し、うち1チームが金賞受賞、夏の吹奏楽コンクール（高校A編成）では、2年連続で金賞受賞しています。また、個人では中部日本吹奏楽連盟主催のソロコンテストにおいて優秀賞を受賞する生徒もいました。近年は、地元の音楽祭、地域の中学校や高校とのジョイントコンサート、イベントや式典、幼稚園や小中学校での演奏、大学の定期演奏会、アンサンブルコンテストなど年間を通じて演奏の機会に恵まれています。



表彰のみなさん

—敬称略—

青少年育成功労者表彰

若村浩昭（八百津） 青木茂雄（八百津） 伊佐治光昭（久田見） 森本英克（伊岐津志）

青少年育成団体表彰

和知中央老人クラブ 小ボラ会（和知） 久田見西部老人クラブ